

おもっしえさんそんライトプロジェクト

設置したナノ水力発電機数	17 台
ピコ水力発電での発電量	200W
活動の全体目標に対する達成度	70%



ピコ水力発電機の設置後

◆成果と工夫したポイント

●成果

地域住民の小水力発電についての興味関心を、今まで以上に醸成することができたとともに、自らが主体となって、小水力発電の整備・作製を行っていきける環境を整えることができた。

●工夫

地元の工業大学の先生に指導を得ながら、部品の加工から設置までを自分たちで行うようにした。

課題

山あいの集落のため、災害時に孤立してしまう可能性があるのも、水、森林等の自然エネルギーを活用して、集落内でエネルギーの自給を図る必要があった。

目標

水資源を活用したピコ水力発電の取組みを進めることで、山村集落で自然エネルギーを活用してエネルギーも自給していく、山村のライフスタイルを提案し、農山村の新たな価値を生み出していく。

活動内容

三つの取組みを行った。

①数 W 規模の発電ができる自転車車輪を活用したナノ水力発電機を、地域住民が主体となって、部品の加工から水路への設置までを行い、外灯等で活用した。②山の中腹にある旧水道の濾過槽を再整備して取水し、ふもとにある公民館に設置した 200W 規模の発電ができるナノ水力発電機まで導水して発電を行った。③自然への感謝や畏敬の念を表す習慣や行事、民話等をヒアリングし、冊子にまとめた。



ナノ水力発電機の水車作製

達成できなかったこと

水力発電機を作製・設置していただけとなってしまう、今後の展開や発電した電気の利用、地域の特色を生かした取組みなどを検討し、実施していくことができなかった。

今後の展望

他の集落でも数百 W の発電ができるピコ水力発電機を設置していき、エネルギーの自給を図る。